



早稲田大学図書館
WASEDA University Library

文献情報の管理と活用

2012.11.15

内容

- 1 著作権の基礎知識
- 2 引用に必要な情報
- 3 文献情報管理ツール

1. 著作権の基礎知識

著作物・著作者の定義

- 著作物

「思想又は感情を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するものをいう」

- 著作者

「著作物を創作する者をいう」

(著作権法 第二条より)

著作物の種類

- 言語（論文、小説、脚本、詩歌、講演等）
- 音楽（曲、歌詞）
- 美術（絵画、版画、書、彫刻、マンガ等）
- 地図・学術的な図表・模型等
- 映画・ビデオソフト・ゲームソフト・写真等
- コンピュータプログラム等
- 二次的著作物（翻訳・翻案等）
- 編集著作物（百科事典・辞書等）

著作権の種類

著作者の権利		著作物の伝達に役割ある人の権利
著作人格権	著作財産権	著作隣接権
公表権・氏名表示権・同一性保持権	複製権・公衆送信権・口述権・上映権・著作物の二次的利用等	氏名表示権・同一性保持権・複製権・録音権・録画権・放送権等
著作者が著作物を創作した時点から著作者の死後50年まで保護される（ただし映画は公表後70年）		実演（またはレコード製作・放送）後50年

著作物の利用

- 例え一部であっても、原則として著作権者の許諾が必要
- ただし、著作権法が定める特定利用については許諾を得なくてもかまわない

自由に使える場合(例)

- 私的利用のための複製(コンビニ等のコピー機による複写等。ただし、デジタル方式の録音・録画機器等で複製する場合には、著作権者に対し補償金の支払いが必要)
- 図書館での複製(原則として著作物の2分の1未満を、調査研究目的で、一人一部のみ)
- 引用(ただし、公正な慣行に合致し、かつ目的上正当な範囲内のみ)

著作権侵害行為

1. 大量ダウンロード
2. 第三者に無断でデータを転送・譲渡
3. 学術目的以外の目的で使用
4. 剽窃(ひょうせつ)

大量ダウンロード

実際にあった事例:

- ・雑誌1号全てダウンロード
- ・自作プログラムやロボットで大量にダウンロード
- ・(Mozilla FireFoxのアドイン DownThemAll!等)
Webブラウザの先読み機能ツールを使用して一括ダウンロード

- DBが自動的にとまり、大学内すべての利用が停止され研究が中断するなどの影響
- 指導教員とともに本人に嚴重注意を行う
- 大学として調査を行い、再発防止策を明記してお詫びと再度接続願いを提出

剽窃(ひょうせつ)

- 「他人の詩歌・文章などの文句または説をぬすみ取って、自分のものとして発表すること」
(新村出編 広辞苑 第六版机上版 岩波書店 2008 p.2396)
⇒ 正しく引用することが重要
- 早稲田大学では、剽窃が発覚した場合、当該科目の単位不可だけでなく、その時に登録している他の科目不可や停学もありうる

正しく引用すること

- ・公正な慣行に合致 ⇒ 必然性がある
 - ・正当な範囲内で ⇒ 自分の文章が主
 - ・引用だとわかるように「」（英語は””）をつける
 - ・引用した著作物を明示する
 - ⇒ 出典の書誌情報
(タイトル、著者名、出版年、ページ等)
- ⇒ 正しく引用しないと「剽窃」、著作権侵害行為

著作権の侵害は犯罪

- 許された範囲外の許諾なき利用



10年以下の懲役又は1,000万円以下の罰金

著作権についてより詳しく知りたい場合は

(社)著作権情報センター (<http://www.cric.or.jp/>) 参照

2. 引用に必要な情報

典拠

SIST 科学技術情報流通技術基準

(JST 科学技術振興機構作成)

<http://sti.jst.go.jp/sist/>

引用に必要な情報(図書)

書誌:

深沢良彰. プログラミング : 考え方と言語.

著者名

書名

NTT出版, 2005, 272p.

出版社(者)

出版年

総ページ数

所蔵:

理工 学生読書室

EDE 970390

配架場所

請求記号

引用に必要な情報 (E-Book)

Mikio Tohyama. Sound and Signals. 1st Edition,

著者名

書名

版表示

Springer Berlin Heidelberg, 2011, 390p.

出版社(者)

出版年

総ページ数

<http://link.springer.com/book/10.1007/978-3-642-20122-6/page/1> (2012-11-12)

URL

入手日付

引用に必要な情報(雑誌論文)

書誌:

藤波 香織 , KAWSAR Fahim , 中島 達夫.

著者名

知的空間構築における日常物の意義と課題.

論文名

映像情報メディア学会技術報告. 2005,

雑誌名

出版年

vol.29, no.63, p.1-4

巻号数

掲載ページ数

所蔵:

理工学図書館

なし

配架場所

請求記号

引用に必要な情報(電子ジャーナル論文)

山川宏. 設計工学と最適設計：現状と今後.

著者名

論文名

2006, 日本機械学会誌, vol.109, p.371-373.

出版年

雑誌名

巻号数

掲載ページ数

http://ci.nii.ac.jp/els/110004735662.pdf?id=ART0007478020&type=pdf&lang=jp&host=cinii&order_no=&ppv_type=0&lang_sw=&no=1352702303&cp=

URL

入手日付

(2012-11-12)

3. 文献情報管理ツール

文献情報管理でよくある事例

- ・メモした紙をなくしてしまった
- ・Wordに書いて自分のPCに保存したが、PCが壊れてしまった
- ・参考(引用)文献リストを作成するのが大変

⇒文献情報管理ツール利用で解決！

文献情報管理ツールでできること

- WEBベースで管理
- 個人アカウント作成
- フォルダ作成
- データベースからの書誌ダイレクトインポート
- 参考文献リスト自動作成(各種様式で可能)
- インポートした情報の共有

まずはRefWorksを使ってみよう！

RefWorks



- 早稲田大学で契約
- 卒業後も利用可能
- 図書館「学術情報検索」から利用

<http://www.wul.waseda.ac.jp/imas/refworks/index.html>

- 使い方ガイド

<http://www.sunmedia.co.jp/e-port/refworks/download.html>

他の文献情報管理ツール

•Endnote Web

ENDNOTE® WEB | provided by WEB OF KNOWLEDGE™

Web of Scienceから利用可。個人登録必要。

•Zotero

zotero

無料。文献情報だけでなく、論文本文PDFも保存できる。

•Mendeley

 MENDELEY

無料。文献情報だけでなく、論文本文PDFも保存でき、ソーシャルネットワークシステムも利用できる。